

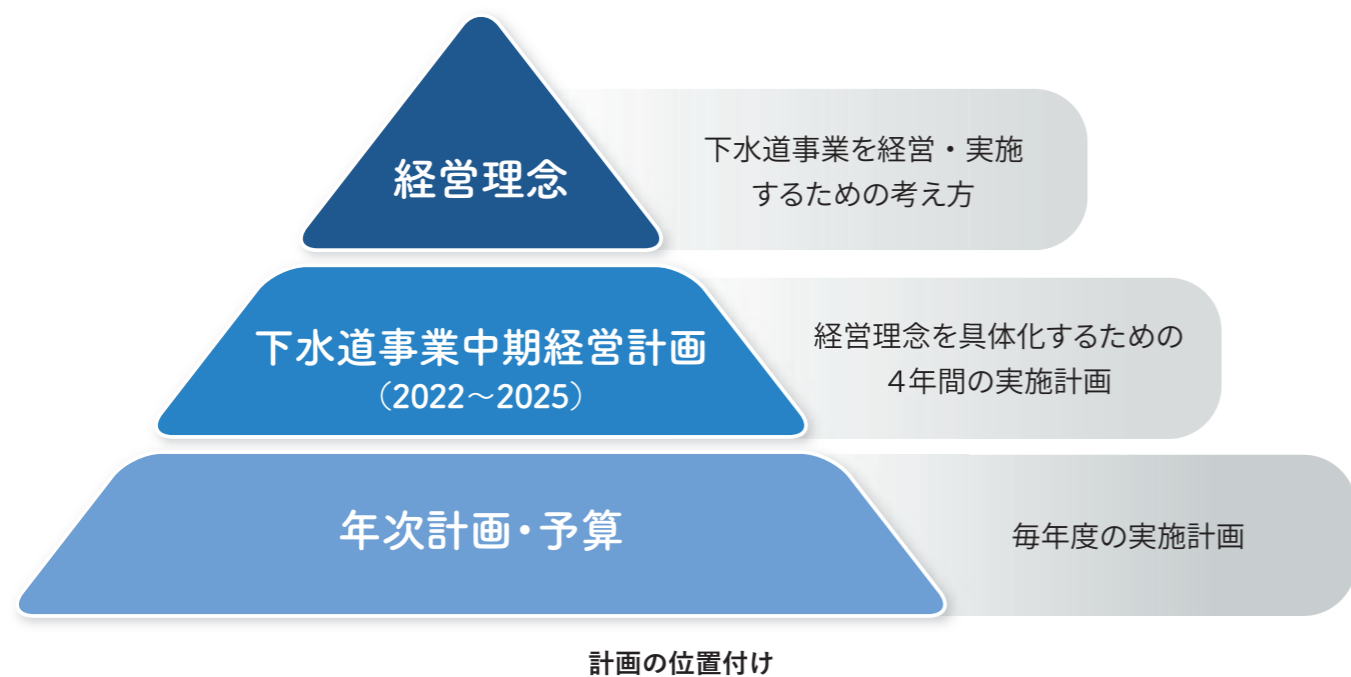
# 1 中期経営計画の位置付け

本計画は、経営理念を具体化し、持続可能な下水道事業運営を推進するために策定する4年間の実施計画です。

本市の下水道事業は、公営企業として、その事業に伴う収入によって経費を賄い、自立性をもって事業を継続していく「独立採算制の原則」が適用されています。また、下水道事業の経費負担の基本原則として「雨水公費・汚水私費の原則」があります。

このような原則を持つ公営企業として施策の推進と財政の健全性の両立を図るため、横浜市下水道事業中期経営計画を策定しており、前計画の「横浜市下水道事業中期経営計画2018」が2021（令和3）年度に終了したため、これに続く「横浜市下水道事業中期経営計画2022」を策定しました。

なお、本計画は「横浜市中期計画」に整合させた内容にするとともに、総務省が公営企業に策定を求めている「経営戦略」に位置付けています。



## 計画期間

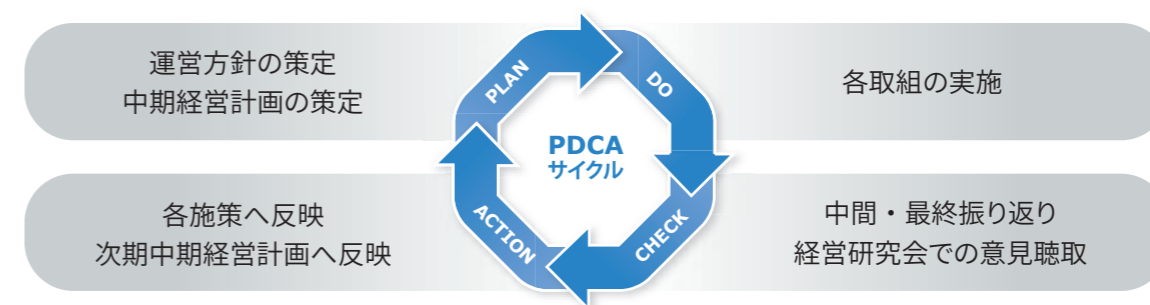
2022（令和4）年度～2025（令和7）年度までの4年間

## 計画の構成



## 計画のPDCA

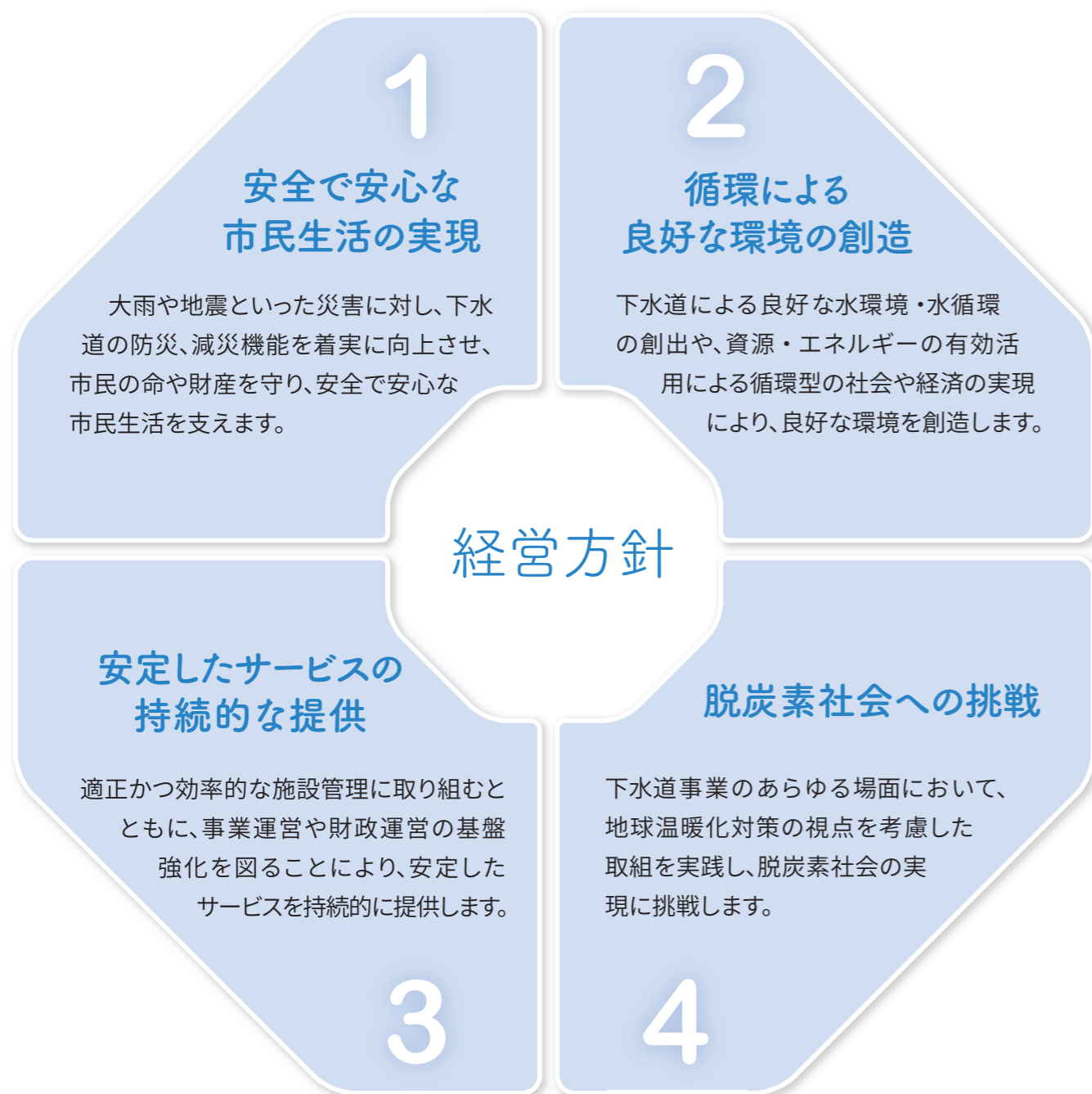
本計画では、4つの経営方針とそれに基づく主要な施策を掲げ、施策の方向性に沿った取組を実施していきます。各取組についてはそれぞれに目標を設定し、中期経営計画の中間期、終了時にそれぞれ「中間振り返り」、「最終振り返り」を実施することで、各取組の進捗を管理します。各取組の進捗状況や社会情勢及び市民ニーズの変化を的確にとらえながら計画を適宜見直し、次の計画に反映するなど、PDCAサイクルを回しながら推進していきます。



# 2 経営方針と基本姿勢

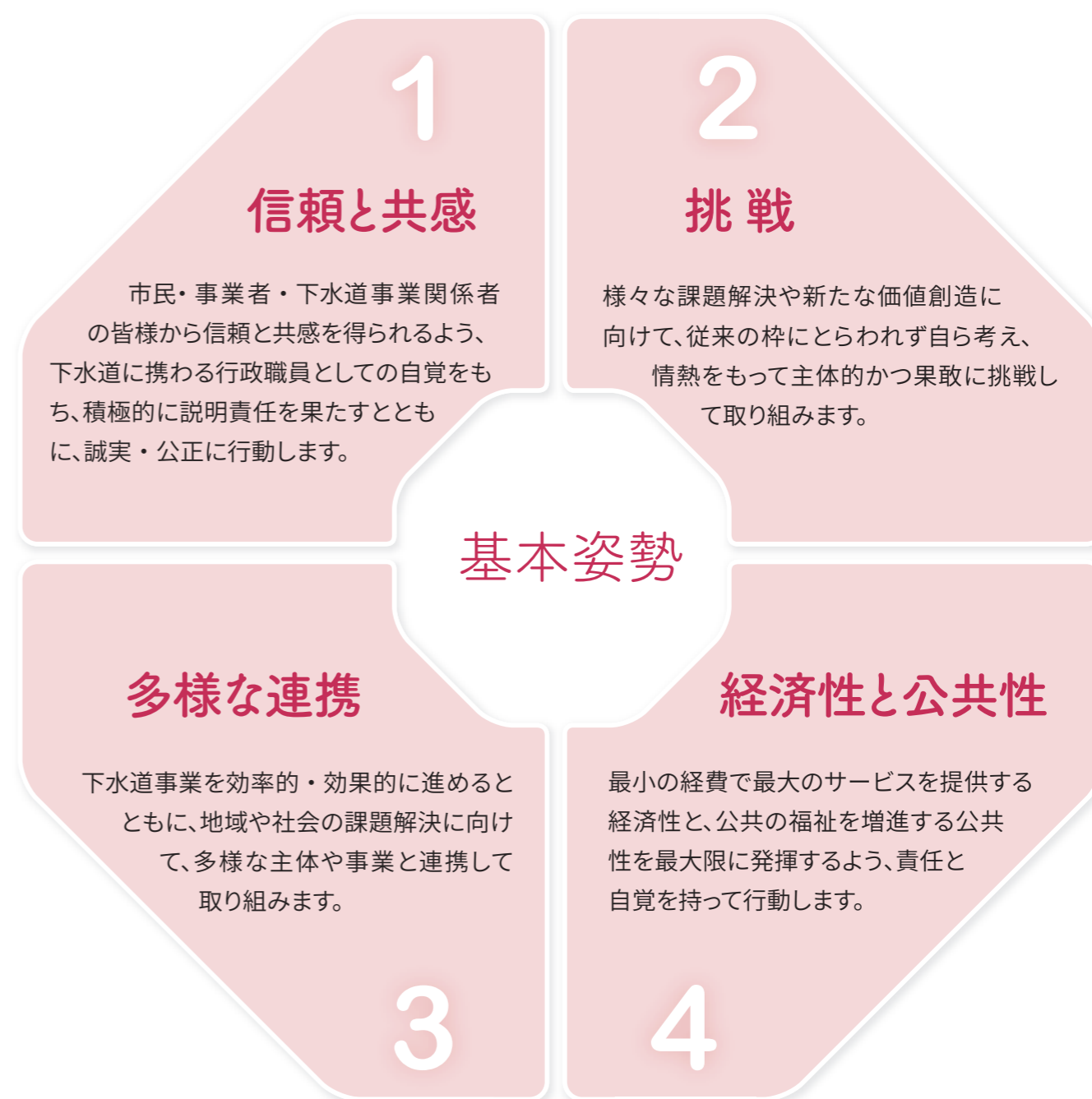
## 経営方針

下水道の役割や下水道事業を取り巻く状況を踏まえつつ、経営理念の実現に向けて次の4つの経営方針のもと下水道事業を運営していきます。



## 基本姿勢

経営理念の実現や施策目標の達成に向け、次の4つの基本姿勢を職員全体で共有しながら、下水道事業に取り組んでいきます。



# 3 策定方針と計画の枠組み

## 中期経営計画2022の策定方針

前計画2018の振り返り、下水道事業を取り巻く環境の変化や課題、横浜市下水道事業経営研究会からの提言（令和3年8月）等を踏まえ、計画2018の主要施策を引き続き着実に実施するとともに、次の取組を重点的に推進していきます。

老朽化した下水道施設<sup>1</sup>の増加、降雨の激甚化・頻発化、脱炭素社会の形成の推進に対応していくため、「老朽化対策」、「浸水対策」、「温暖化対策」の強化を図ります。

多様な主体との連携の強化やデジタル・トランスフォーメーションを推進していきます。

下水道事業を市民に広く、よりわかりやすく伝えていきます。

財政状況を検証しながら必要な取組の実施と健全な経営の両立を目指します。

## 計画の枠組み

経営理念に「かけがえのない環境を未来へつなぐ横浜の下水道」を掲げ、「安全で安心な市民生活の実現」「循環による良好な環境の創造」「安定したサービスの持続的な提供」「脱炭素社会への挑戦」の4つの経営方針の実現に向けて、7つの施策目標からなる12の施策を展開していきます。

また、事業の実施にあたっては「信頼と共感」「挑戦」「多様な連携」「経済性と公共性」の4つの基本姿勢のもと、職員一丸となって取り組みます。



1 下水道施設：下水を排除する排水管等の排水施設、下水を処理する処理施設、ポンプ施設、貯留施設その他の施設の総称。

## 経営理念

かけがえのない環境を未来へつなぐ横浜の下水道  
～下水道の多様な機能を通じて市民の暮らしを支え、横浜の明日を創る～

## 経営方針

経営方針 1  
安全で安心な  
市民生活の実現

経営方針 2  
循環による良好な  
環境の創造

経営方針 3  
安定したサービスの  
持続的な提供

経営方針 4  
脱炭素社会への  
挑戦

### 施策目標

### 施策



施策目標 1  
災害に強いまちづくり

施策 1 浸水対策

施策 2 地震対策



施策目標 2  
良好な環境の実現

施策 3 良好な水環境の創出

施策 4 循環型社会への貢献



施策目標 3  
市民生活を支える下水道の管理

施策 5 維持管理

施策 6 老朽化対策



施策目標 4  
下水道の脱炭素化

施策 7 温室効果ガスの削減



施策目標 5  
世界につながる横浜下水道

施策 8 国際技術協力・海外水ビジネス展開支援



施策目標 6  
明日へつなぐ事業運営

施策 9 事業を担う体制づくり

施策 10 下水道DX・技術開発

施策 11 下水道事業のプロモーション活動



施策目標 7  
持続可能な財政運営

施策 12 収入確保と支出削減

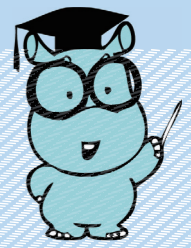
### 基本姿勢

基本姿勢 1  
信頼と共感

基本姿勢 2  
挑戦

基本姿勢 3  
多様な連携

基本姿勢 4  
経済性と公共性



## 主な施策の取組と事業費

### 施策目標 1 災害に強いまちづくり

**施策 1 浸水対策** **396億円**

- 計画的な浸水対策の着実な推進(ハード対策)
- 被害を軽減するための自助・共助の促進(ソフト対策)
- グリーンインフラ等を活用した雨水流出抑制対策

**施策 2 地震対策** **258億円**

- 災害時のトイレ機能確保
- 下水道施設の耐震化
- 危機管理体制の確保

### 施策目標 2 良好な環境の実現

**施策 3 良好な水環境の創出** **322億円**

- 良好な処理水質の確保
- 合流式下水道の改善
- 健全な水循環の再生

**施策 4 循環型社会への貢献** **33億円**

- 下水道資源やエネルギーの活用

### 施策目標 3 市民生活を支える下水道の管理

**施策 5 維持管理** **1,164億円**

- 下水道管における予防保全型の維持管理
- 水再生センター等における適正な運転管理と予防保全型の維持管理

**施策 6 老朽化対策** **1,274億円**

- 下水道管の再整備
- 水再生センター等の再構築・再整備

### 施策目標 4 下水道の脱炭素化

**施策 7 温室効果ガスの削減** **66億円**  
※他の施策との重複含む

- 温室効果ガス排出抑制と創エネルギーの活用

### 施策目標 5 世界につながる横浜下水道

**施策 8 国際技術協力・海外水ビジネス展開支援** **2億円**

- 新興国における技術協力の推進
- 海外水ビジネス展開の推進
- 国際会議等における発表や国際交流を通じた情報収集

### 施策目標 6 明日へつなぐ事業運営

**施策 9 事業を担う体制づくり** **0.04億円**

- 多様な主体との連携の推進
- 業務の効率化
- 人材の育成・技術の継承

**施策 10 下水道DX・技術開発** **2億円**

- 下水道デジタル・トランスフォーメーション(DX)
- 下水道事業が直面する課題に対応する技術開発

**施策 11 下水道事業のプロモーション活動** **0.5億円**

- 市民に広く、より分かりやすい情報発信
- 市民との交流を通じた広報

### 施策目標 7 持続可能な財政運営

**施策 12 収入確保と支出削減**

- 下水道使用料、国庫補助金、その他収入の確保等
- コスト削減、公民連携による支出の削減

下水道の基本的な役割は、「都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域<sup>1</sup>の水質保全に資すること」であり、SDGsと密接に関係しています。本市の下水道事業は7つの施策目標を掲げて取り組んでおり、引き続き、国際目標を意識して下水道事業を推進することで、SDGsの実現にも貢献していきます。



### SDGsとは

SDGs(持続可能な開発目標)とは、前身のMDGs(ミレニアム開発目標)を引き継ぐ形で2015年9月に国連サミットで採択され、2030年を年限とした国際目標のことです。この目標は、国際社会全体がパートナーシップと平和の下で取り組み、「経済、社会及び環境」が調和された形で達成するものとされ、本市下水道事業においてもこの目標の達成に貢献していくことが求められています。



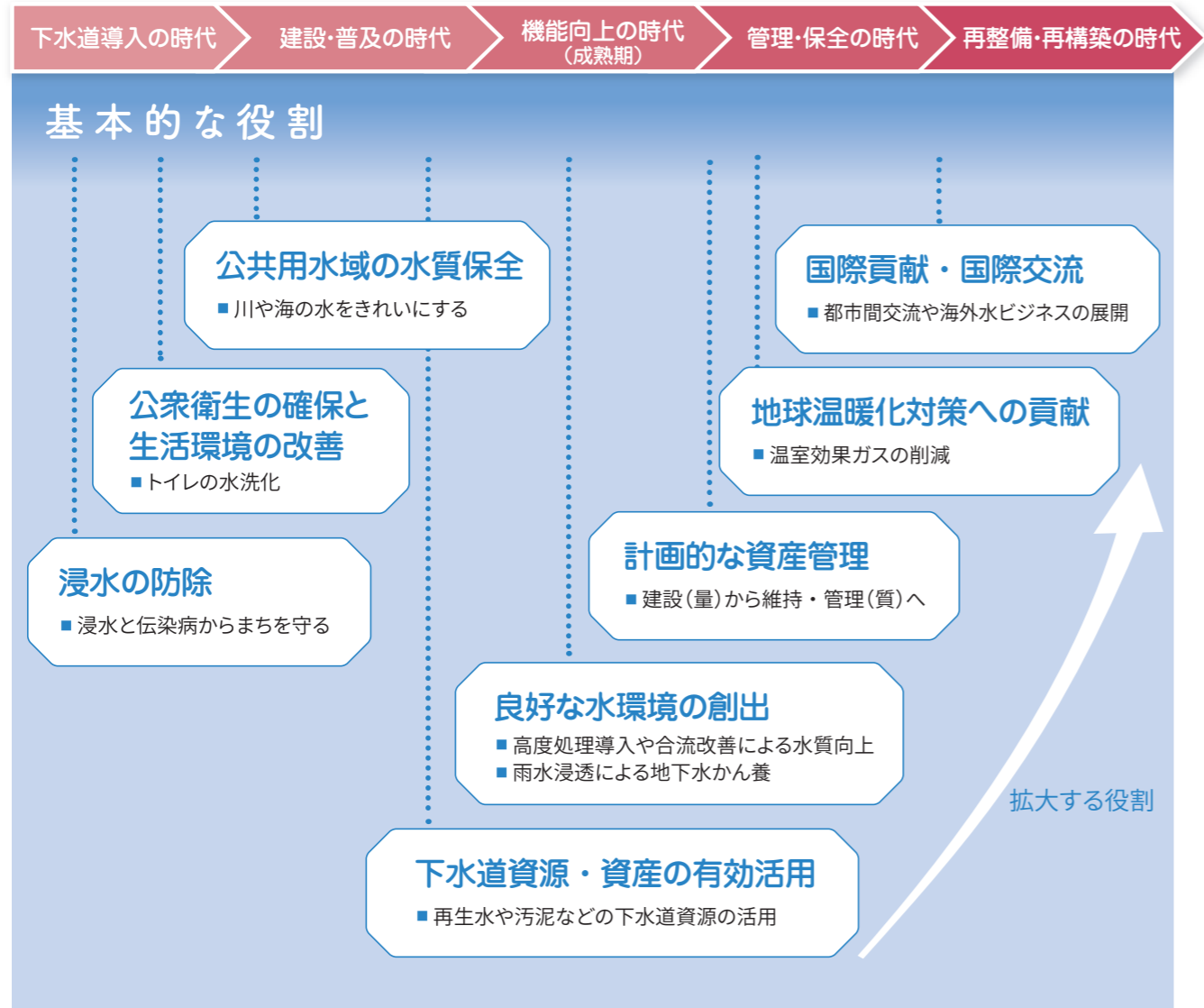
1 公共用水域：水再生センターへ流入する下水道を除く、すべての溝渠(小規模の溝状の水路及び管きよ)や水路、および川や湖、海などの水域。

# 4 横浜市の下水道

## 下水道の役割

下水道法第1条では、この法律の目的として「下水道の整備を図り、もって都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質保全に資すること」と規定されており、「浸水の防除」、「公衆衛生の確保と生活環境の改善」、「公共用水域の水質保全」の3つが下水道の基本的な役割となっています。

一方で、時代や取り巻く環境の変化に応じて、「下水道資源・資産の有効活用」、「良好な水環境の創出」、「計画的な資産管理」、「地球温暖化対策への貢献」、「国際貢献・国際交流」など、下水道の役割は拡大してきました。



下水道の役割の変遷

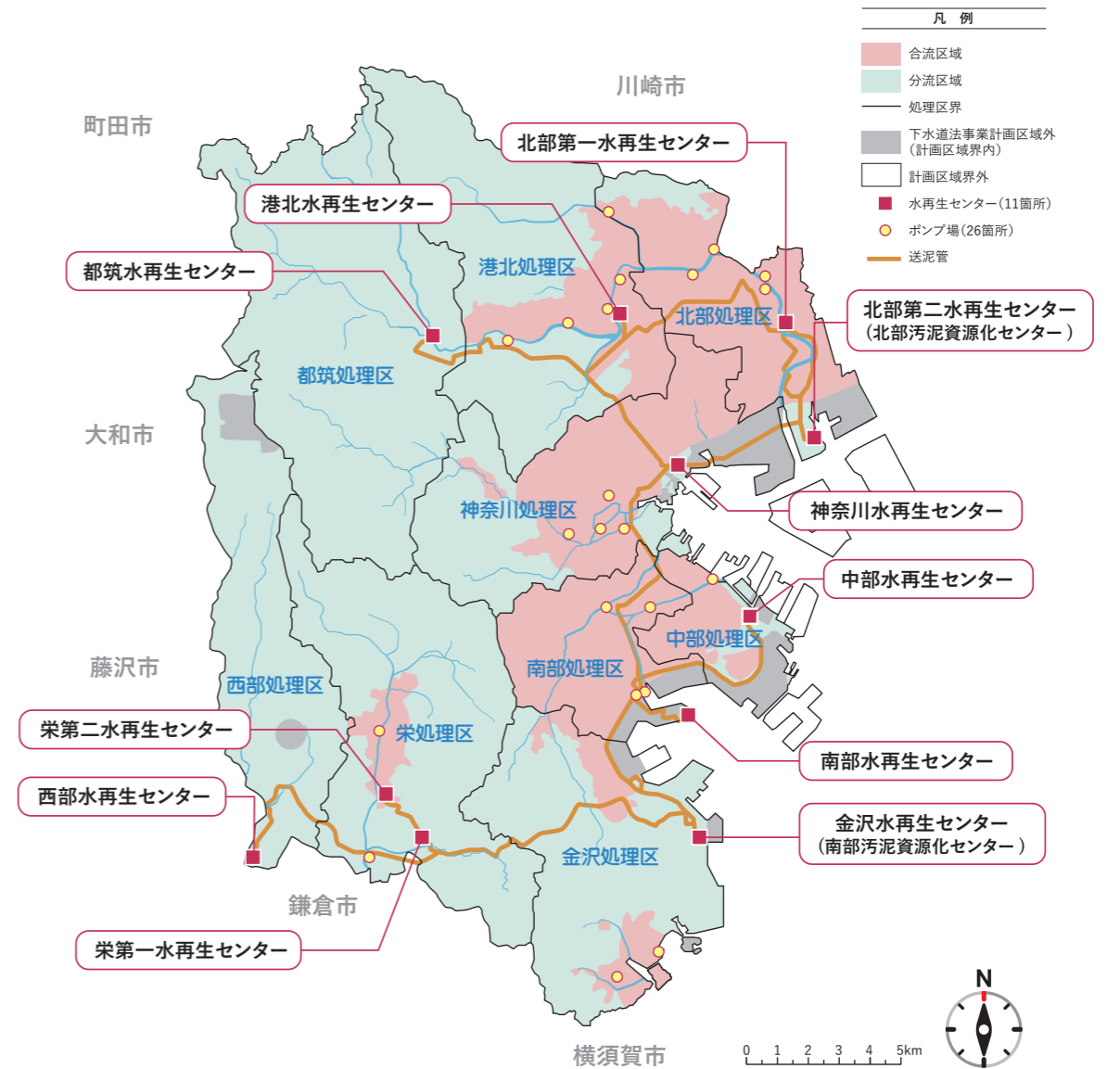
## 横浜市の下水道の概要

横浜市公共下水道の計画区域は、市域のうち臨海部の埠頭を除いたほぼ全域です。

市域を9処理区に分け、11箇所の水再生センターと2箇所の汚泥資源化センター、26箇所のポンプ場が稼働し、約377万人の市民生活や企業活動を支えています。

下水道排除方式は、臨海部を中心とする市域の約1/4の地域では合流式下水道、残りの郊外部については分流式下水道を採用しています。

項目	内容
市域面積	43,571ha
総人口	3,775,319人
分流区域面積	29,193.80ha
合流区域面積	10,843.56ha
下水道普及率	100% ※小数点以下2桁を四捨五入
水再生センター	11箇所
ポンプ場	26箇所
管きょ延長	11,934km
送泥管延長	159km



横浜市の水再生センター等の配置と分合流区域

(2020(令和2)年度末)

# 下水道のしくみ

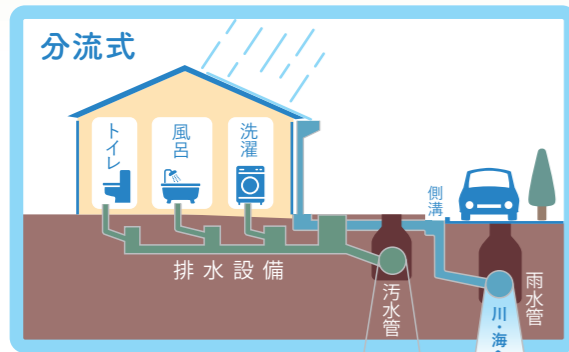
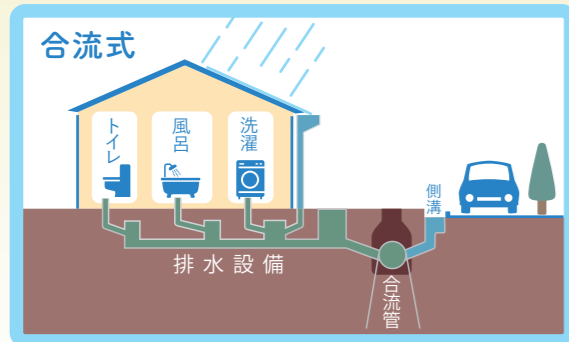
家庭や事業所などで使って汚れた水は、下水道管を通じて水再生センターに流入します。まちに降った雨は、分流式の雨水管などを通して、川や海に放流されます。水再生センターに流入した下水は、ゴミ

や砂を取り除き、微生物の働きなどによりきれいな水に再生されて、川や海に放流されます。下水処理の過程で発生した泥状の物質(下水汚泥)は、汚泥資源化センターへ圧送し、集約して処理をしています。



## 下水を水再生センターまで

下水を送る方式には、汚水と雨水を一本の下水道管で送る「合流式」と、汚水と雨水を別々の下水道管で送る「分流式」があります。



### 沈砂池・ポンプ施設



大きなゴミや砂を取り除き、ポンプで最初沈殿池に送られます。

### 最初沈殿池



下水の中の浮遊物はゆっくりと沈み、うわ水は反応タンクに流れ、池底に沈んだ汚泥は汚泥資源化センターへ送ります。

### 反応タンク



下水処理の中心部です。汚れ(有機物・窒素・りん等)は活性汚泥(微生物のかたまり)と共に、空気の吹き込みや機械によりかくはんされ、活性汚泥のエサになり取り除かれます。

### 最終沈殿池



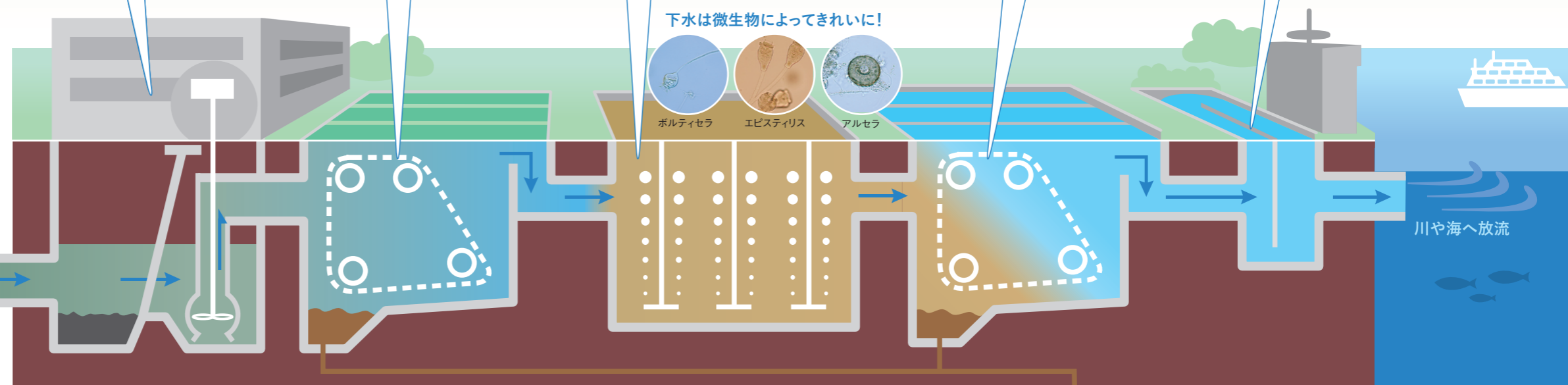
活性汚泥は集まりゆっくり沈み、うわ水は消毒施設に流れ、池底に沈んだ活性汚泥は反応タンクに返送されると共に、一部の余剰分は汚泥資源化センターへ送ります。

### 消毒施設



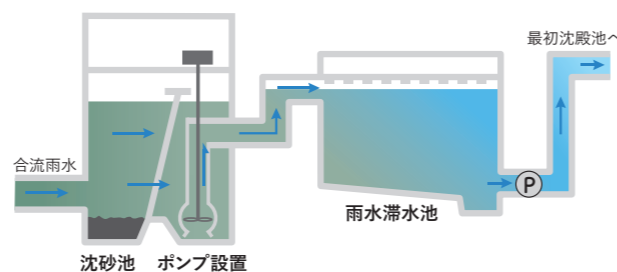
再生された水を消毒してから、川や海に放流します。

## 水再生センター



## 合流式下水道の改善

合流式下水道では、雨の降り始めの下水は道路や下水管内などの汚れを多く含んでいます。このため水再生センターの能力を超えた場合には、川や海へそのまま放流されてしまいます。そこで降り始めの汚れた雨水を雨水滞水池に一時的に貯めておいて、雨が降り止んでから水再生センターで再生して川や海に返します。また、沈砂池に残ってしまった汚れを含んだ水が腐敗しないよう引き抜いて、水再生センターで再生するなど様々な対応を行っています。



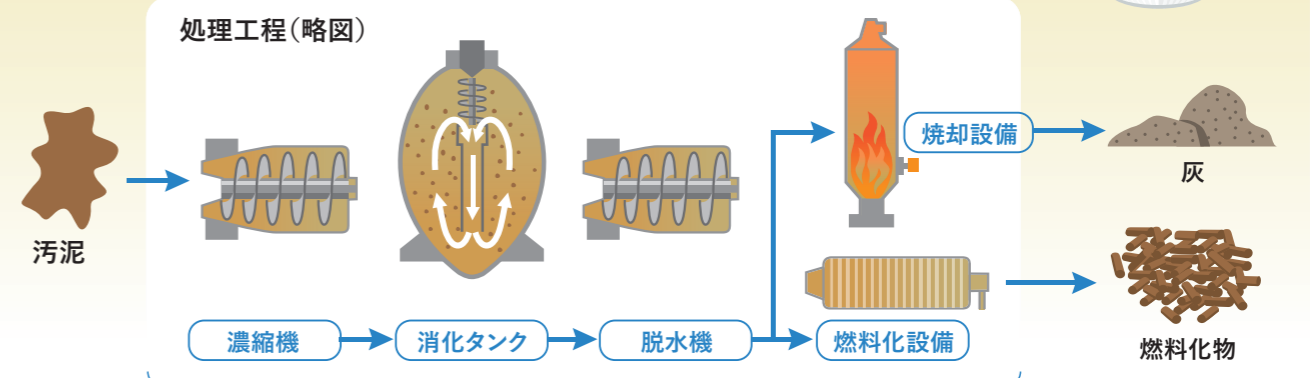
## まちに降った雨は

雨水管や雨水を汲み上げるポンプ場を通して川や海に放流されます。豪雨時には、下水道管の能力を超える雨水を一時的に雨水貯留施設に貯留しています。

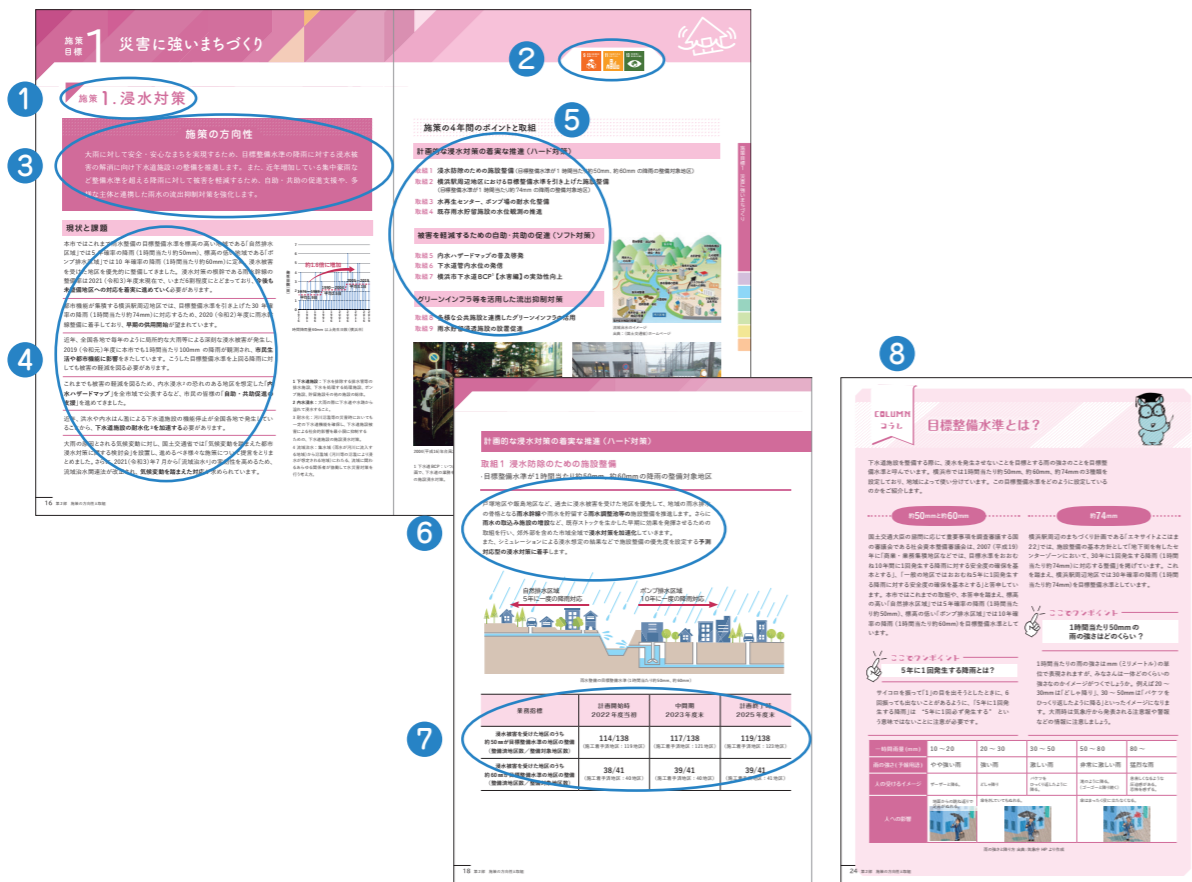










## 汚泥資源化センター

水再生センターから送られた汚泥は、濃縮、消化、脱水、焼却により、臭気のない衛生的な灰にし、改良土や建設資材原料などに利用しています。一部の汚泥は燃料化し利用しています。



# 第2部 施策の方向性と取組



- 浸水対策 
- 地震対策 
- 良好な水環境の創出 
- 循環型社会への貢献 
- 維持管理 
- 老朽化対策 
- 温室効果ガスの削減 
- 国際技術協力・海外水ビジネス展開支援 

- ① **施策名** 「横浜市下水道事業中期経営計画2022」において取り組む施策の名称です。
- ② **SDGsアイコン** SDGsの17の目標のうち、施策とかかわりの深い目標のアイコンを掲載しています。
- ③ **施策の方向性** 施策に対する4年間の方向性を示しています。
- ④ **現状と課題** 施策における現状と課題を示しています。
- ⑤ **4年間の主な取組** 施策を進めるための取組を1～3個の取組分類ごとに示しています。
- ⑥ **取組の概要** 各取組の概要を説明しています。
- ⑦ **業務指標** 各取組の業務の進捗を表す指標と、計画期間中の目標値を段階的(計画策定時、中間期、計画終了時)に記載しています。
- ⑧ **コラム** 施策や取組の理解を深めるためのコラムを掲載しています